

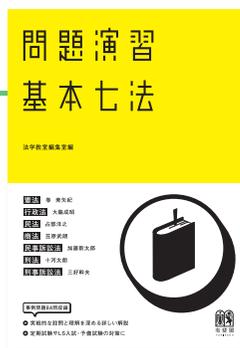
問題演習 基本七法

法学教室編集室 編

2018年7月発売 / 187頁 / 本体1600円＋税
B5判 / 並製



詳細を見る



編集
担当者
から

“定期試験で事例問題が出されるけど、どうしよう…”と悩んでいる方も多いと思います。事例問題の回答は、講義を受けているだけでは、なかなか上達しないものです。それなりに場数を踏んで、慣れていくことが必要です。本書は、その慣れの場をみなさんに提供します。

本書は、数多ある問題演習書のなかでも、色々な意味で抜群のコスパです。法学教室の演習欄をまとめたものですので、設問や解説の充実ぶりはもちろんですし、問題数も7分野計84問と、この1冊で重要論点の多くをカバーできます。“どの問題演習書がよいのだろう？”と迷っている方こそ是非手にとってみてください。

さらに、新しい試みとして、設問部分のみをまとめた「設問集」をウェブ上で無料公開しています。試験を想定して、まずは設問のみと向き合ってみるのもオススメです。右のQRコードからアクセスしてみてください。(鈴木)



Point!



下の「演習の活用法」だけでなく「論点索引」も各分野掲載し、自学自習を助けます。

【分野と執筆者】 憲法：巻 美矢紀 / 行政法：大脇成昭 / 民法：占部洋之
商法：笠原武朗 / 民訴法：加藤新太郎 / 刑法：十河太郎 / 刑訴法：三好幹夫

演習の活用法

1 設問

しっかり読んで、考えよう
問いに答えるために、「授業録の
中に記入された要点や授業中の
「設問に答えなければならない」などの
意識を持って読んでほしい。
考えたことをそのまま練習に
書くか(実地型)まで検討する
ことが重要になります。

●本誌の設問が学生の疑問点や、
ぶつ切りのポイントや疑問点から
www.lawaku.co.jp/book/detail/27
56464/120209/ を参照しよう。

2 演習

●演習は必ず自分の手で書くこと
●演習は必ず自分の手で書くこと
●演習は必ず自分の手で書くこと

3 ステップアップ

もう一歩学習を進めたい
解説まで読み、十分理解が深まら
ぬ、ここを再読みしよう。理解の深
みを少し深めよう。難点は論点を
再読しよう(ステップアップ)。

4 POINT

解答への第一歩
設問に書かれる論点や解答への注
意点をしっかりと読み、設問の意
図を捉え、解答の構成と見比べて書
きながら確認しよう。

●設問を読んで解答の構成がわかるか
ら、まずは設問を読んで、解答の構
成を確認しよう。

5 解説

解答例ではありません
解説例は、設問が学生に提出している、授業中の
内容が丁寧に説明されています。
法學においてはその解説が正しいものでも
ありません。本誌の解説は解答例や解説書とは
ありません。解説から自分の解答の構成を考えよう。

6 参考文献

もっと詳しく知りたい
理解を深めるための参考文献を
紹介しよう。